Riverside Nostalgia





飯田佳佑 建築設計計画研究

□プログラム

親水コミュニティセンター近くに大きな集合 住宅があるので子育て支援施設や料理教室を 造る。自宅の前で野菜を売る方が多く見受け られたので地域住民のための野菜直売所、 シェア畑、近くに大学があるが周りには何も ないのでカフェ、図書歴史資料施設、飲食店、 広場、昔からこの川で遊ぶ子供達が多いので 川遊び教室、散歩してる方が多いので建築と 散歩道を融合、水辺での体験を補助する施設。 この地域に溜まる場所や雇用を生み出す。



□デザイン

既存の散歩道を意識して建築のボリュームをくり抜いたり、凹ませたりして建築と散歩道の融合を目指した。柱の配置は川の音を録音して、0.5 秒毎に波長の線を取り出し、次の線と比較してその差を柱と柱の間隔としてとらえ、これを2パターン用意して交互に配置することで、可視化された1/fゆらぎを表現した。また、昔この川を使い名栗から東京へ西川材を輸送していたことから西川材を基調とし、水に浮かぶ様なデザインにした。



□コンセプト

人々は昔川の水を飲料水として使ったり、食材を洗ったり洗濯をしたり輸送手段として利用したりして川と近い生活をしていたが、近代化や災害などから川から離れて生活するようになってきました。しかし自然思想の高まりなどから人々は自然を求めるようになってきました。この旧線路は今日まで約100年間放置されている状態。なので私は川辺に再び賑わいを取り戻し歴史的建造物を保存し学ぶ親水コミュニティセンターを提案します。





